



長 崎 県

中小企業家同友会

DOYU

ニュース 21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」 ～地域と共に生きる長崎同友会 会勢600名を達成しよう!～

長崎支部 外形標準課税適用拡大反対 街頭署名活動 報告

長崎支部では、「外形標準課税適用拡大反対」の街頭署名活動を9月27日土曜日の10時より浜の町ハマクロス411（旧長崎大丸デパート）前で行いました。二時間半に渡って行ったこの活動についてご報告したいと思います。

開始時間の午前10時、約20名の会員および5名の事務局員全員の頑張るぞー！コールとともに街頭署名活動がスタートしました。さすが浜の町。朝にもかかわらずけっこう通行人の方がいらっしゃいます。「中小企業へのさらなる増税反対!!」威勢の良いシュプレヒコールに通行人の反応は・・・???という感じでした。やはり、「外形標準課税」という難しい言葉に、一般の方々は「何っ？」という雰囲気です。



そこで、署名用紙を持った機動部隊の出番です。自ら署名をしていただける方はほとんどいません。そこで通行人一人一人にお声かけをして、主旨を説明させていただいて署名していただくというコツコツ戦術です。爆発的に集まるということはありませんが、今回



の目的の一つでもあった、一人でも多くの市民の皆様に「外形標準課税適用拡大とは」について知っていただくためには必要なことでした。

まさに、“コツコツが勝つコツ!”。

なんと、二時間半で728名もの方々のご署名をいただくことができました。本当にありがとうございました。

また、今回の署名活動を通して、長崎支部の会員同士の絆、事務局との信頼関係がさらに深まったと思います。

お忙しい中、ご協力いただいた関係者の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

(文責 出口 一隆)

目次

長崎支部 外形標準課税適用拡大反対 街頭署名活動	1	諫早支部フォローアップセミナー 開催報告	11
9月例会報告	2	第1回佐世保支部 経営指針策定セミナー 参加報告	12
支部活躍	7	入会会員紹介	13
第42回 青年経営者全国交流会 参加報告	8	11月例会案内	14
情報広報委員会 新HP記事投稿勉強会 開催報告	10	理事会議事録 抜粋	15
九州・沖縄ブロック事務局長会議 参加報告	10	会員消息・会員数	16
長崎支部 ボウリング大会 開催報告	11		

長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	9月26日(金) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	「私の事業承継 ～IT、始めました～」
報 告 者	藤村 昆布海産(有)、(株)カナル 代表取締役 藤原 隆 会員 (長崎支部 出島地区会)



今回は、出島地区会員藤村隆さんをお招きして報告していただきました。

「家業を継ぎたくなかった」という、藤村昆布海産(有)の現社長であるお父様は、息子さんである藤村さんには好きな仕事をしてもらいたいと思われていました。そのため藤村さんも家

業のことは考えず、大学卒業後は東京のコンピュータ関連の会社に就職されました。約2年後、大きなプロジェクトが終わったのを機に長崎に帰郷。その時藤村昆布海産の経理などがすべて手作業でされているのを見て、OA化はもちろんのことIT技術の経験を活かし会社のホームページも制作。ネット販売を開始されたことで停滞していた売上を伸ばす原動力になりました。

ある時仕事を終えて服を脱いだ際に、幼少の頃かいだお父様と同じ「匂い」にこれまでの親の愛情を感じ取られて、事業承継を強く意識されたそうです。

ただ人口減少などにより海産物の消費量も年々少しずつ落ち込んでおり、海産物卸業の市場の先細りも心配になられたようです。そこで本業がしっかりしているうちに新分野の会社「(株)カナル」(IT関連)の事業を設立。同友会のホームページも制作していただきました。お父様の会社を承継しつつも自分の好きな分野で活躍できる、新しい事業承継の形ができたよう



です。

また藤村さんは、社長が社員さんを怒らないという経営方針に感心されていて、社員が一人も辞めないという現状を話していただきました。離職者が多い昨今、怒らないで経営できることが一番大切かもしれません。

また会社の主力商品である「昆布」について説明していただきました。昆布といってもたくさんあり、用途によってうまく使い分けることが大切なようです。おやつ昆布がとっても美味しく人気がありました。

事業承継できる人がいないというのも今後の中小企業の悩みではありますが、藤村さんのような事業承継の形も今後の参考になったのではないのでしょうか。

(文責 岩 素子)

長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	9月25日(木) 午後6時
会 場	サンプリエール
テ ー マ	家電王子が語る!! 「Never Give Up」
報 告 者	(有)エム・オー長崎 取締役 小川 久郎 会員

9月例会は、小川久郎会員に快く引き受けていただきました。

皆に好感をもたれるイケメンの小川会員は「家電王

子」とも呼ばれ、爽やかな印象ですが、その裏に秘めた情熱や努力を包み隠さず報告してもらいました。

家電総合卸業「有限会社 エム・オー長崎」は、小川会員の父親が家電業界から独立して昭和60年3月創業、翌61年2月に会社を設立して現在は、家電製品・空調設備・音響映像機器及びこれらに関連する商品を取り扱っています。

小川会員は、平成8年長崎商業高校卒業後、いさはやコンピュータカレッジを経て電子機器メーカーに就職し結婚、子供にも恵まれましたが、平成21年母親が肝臓がんのため58歳で他界、それを期に家業を継



ぐ決意を固め平成23年入社、前職のノウハウを生かし業務の効率化と様々な情報の蓄積のためアナログからデジタルへの移行を進め営業活動のIT化へ向けて電子機器を使いこなすビジネススタイルは物売り営業から問題解決型スタイルをめざし売上を伸ばしています。その一環として「Facebook」を活用して情報を発信。その通称が「家電王子」です。

内容は、新商品紹介や動画による家電の使用法だけでなく楽しいメッツセージやお得意様のお店紹介



やプライベート情報も満載でお客様とのコミュニケーションの場になっています。成功例だけではなく悪質詐欺師に商品をだまし取られた話もあり、その時は周りに支えられ感謝しているとの事でした。何事にもあきらめない気持ちで立ち向かっていこうと誓ったそうです。自分も負けない様に「Never give up !」でいこうと思います。

(文責 井口 達宣)

大村支部 例会報告

日 時	9月16日(火) 午後6時30分
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ マ	「我社の人材育成の考え方は？」 ～今できる人材育成の基本と今後の対応について～
報 告 者	チェンジコンサルティング(同) 業務執行社員 宇土 敏郎 会員



今月の例会はチェンジコンサルティング合同会社の宇土敏郎会員が報告者です。経営コンサルタントとしての立場から人材問題にスポットをあてた報告をしていただきました。

皆さんは自社の人材問題で悩んだことはありませんか？私は会社を設立して以来この問題から解放された事はありません。(＞_＜) 武田信玄は「人は城、人は石垣・・・」と言っていましたが、まさに人材問題を制すれば強固な会社組織が完成するのでしょうか。

さて、宇土さんは大変ユニークで効果的な手法「エ



ゴグラムによる性格診断」を実施することで社員の特性が理解できると言われています。エゴグラムって聞きなれない言葉ですね。簡単に言えば自己分析を視覚的にグラフ化することで、規定のパターンからその人の特性を知ることなのです(たぶん)。是非ネットで調べてみて下さい。限られた時間の中で多くのヒントを話していただきましたが、その中でいくつかご紹介します。

例えば、社員のレベルを上げるにはやる気の向上が必要です。自分の人生を仕事にかけられるかどうかは重要な事で、10年後にその職場で自分がどうなっているかのビジョンが見えていることは大切な要素です。社員がその仕事を好きになるには達成感が得られる環境を作らなければなりません。経営者は適切な評価をする責任があります。評価する事とはどういう事でしょう。給与を上げるのも一つの評価の結果ですが、しかしながら給与を上げただけではやる気には繋がらないそうです。それよりも責任と権限を与える事が社

員のやる気に大きな影響を与えるそうなのです。そこには「任せたぞっ!」という信頼があるからなのだろうと私は思いました。

これから少子化により労働力は先細りします。私達中小企業の経営者は、若くて優秀な労働力を確保することが難しくなるかもしれません。シルバー世代や女

性の戦力を必要とする時代になってきました。僅かな面接の時間だけでその人の特性を見抜くことは至難ですが、人材採用の確かな選択眼と短期、長期の人材育成が私達経営者に求められています。

(文責 島崎 和紀)

諫早支部 例会報告

日 時	9月24日(水) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	経営体験報告 会員は辞書の1ページです。第4弾 ～当社はこんな仕事をこなしています。～
報 告 者	(有)大栄ハウジング 専務取締役 友永 俊介 会員



今回の報告は、自社の紹介第4弾として(有)大栄ハウジング 専務取締役 友永俊介さんをお願いいたしました。

高校を卒業後、陸上自衛隊へ入隊。任期満了退職後、家業である建設関連の専門学校に入校、卒業後は福岡の建設会社で3年の武者修行を経て、2004年(有)大栄ハウジングに入社します。建設業界の取り巻く環

境から自社戦略として、ランチェスターの法則や顧客の分布地図、自社の方向性と現状をレーダーチャート図等を用いてきめ細かに自社を分析されている点には、出席の皆さんから絶賛されていました。また、今回の報告において、九州の10人中9人が知らなくて、北海道の10人中9人が知っている、家の燃費という事や、海外の家屋と比較した時の日本家屋の平均寿命の短さ、等々建築のプロとしての知識も豊富で、日頃より何事にもよく勉強されている事を感じさせていただきました。

最後に、私が考える同友会という事で、締めくくられました。

同じ志を持つ異業種の経営者たちが、語り合い、学びあった事を行動する。時に迷い苦しむ仲間たちに手を差し伸べ、導きあう。

友と共に、優れた会社組織を目指し、それぞれの業種で地域の一番星となるべく、知恵と、勇気を共有する。

会うことで絆を深め、開かれた未来の為に日々精進し、人々に、そして地域に必要とされて、会いに行く。

今回の報告の感想では、ほとんどの方が、多岐にわたられ良く勉強されていると言われておりましたが、経営者としての考えを入れて報告していただきたかったと、辛口な感想もあり、同友会の真の姿が映し出された素晴らしい例会でした。

(文責 前田 義幸)

島原支部 例会報告

日 時	9月17日(水) 午後7時
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	経営体験報告 第4弾 青年経営者会、島原商工会議所青年部 参加例会 「価値観の違う親族からの事業継承」 ～継ぐ側の葛藤と継がせる側の不安～
報 告 者	本多兄弟商会 本多 勝一郎 会員

今回は島原商工会議所青年部をゲストとしてお招きし、多くのオブザーバー出席の中での報告となりました。

会場に入るとテーブルに素麺とツユが運ばれてきました。今回は本多さんのつくられた素麺を食べながら報告を聞くという素晴らしい演出からのスター



トでした。

いつか家業を継ぐことをやんわりと心に秘めての大学生活。様々な人や刺激に触れ、やりたいことも変化していきました。地域貢献、マーケティング、IT業界へとその関心は広がります。卒業後、家電量販店に就職された本多さん。仕事の内容は充実していたものの月130時間を超える残業。激しい離職率を目の当たりにして、自分は大組織の代わりの効く歯車の一部ではないか、と感じました。

「自分にしか出来ない仕事をやる」。ある日、大学時代の友人の言葉を思い出しました。自分らしくある為に、生涯の情熱を何に注ぐか模索する中で、幼少から家業の素麺を食べて育ち、生かされてきた事を感じ、事業承継を決意。しかし帰省した本多さんを待っていたのは、想像していたものとは違っていました。例えば工場では白衣を着ない、新しい販路を拡大しようとしない、廃棄ロスの多い商品、親族経営の難しさなどなど、一時は諦めて再就職しようと思ったこともあったようです。誰かに相談したくても「身内の恥をさらすような事はするな」と内部から止められ、誰にも相談できない状況でした。

そんな中、同友会と出会います。本多さんが強く魅かれたのは報告後に相互に意見を出し合うグループディスカッション。そこで本気で悩み、意見をぶつかり合わせ、改善しようとしている真剣な経営者の姿を目の当たりにし、相談できる仲間を得て、自社の改革に取り組んでおられます。

現在は方向性の違う社内にかく一つの柱を見出そうとされています。またホームページを立ち上げ、ネット販売を始め、今後はオリジナル商品をつくり、小売り販売に力をいれていきたいと話されています。地域活動にも積極的です。保育園のお祭りや同友会でのイベント時に「そうめん流しイベント」を開催されています。

島原支部は2代目の若手経営者が多く、共感する部分が多かったようです。本多さんは学生時代関心を持った、地域貢献、マーケティング、IT業界、全ての事が現在出来ている、と語ります。将来、地域の子供たちが「島原半島はそうめんの街だ」と、胸を張って言えるようにすることが目標だと話す本多さんの今後の活躍が楽しみです。

最後に、来月に迫った経営フォーラム2014の告知を実行委員会の山口実行委員長がされ、皆さんで「エイエイオー」と高らかに拳を挙げ、9月例会を終了しました。

(文責 荒木 亮)



佐世保支部 例会報告

日 時	9月17日(水) 午後6時30分
会 場	佐世保市中部地区公民館 講座室
テ ー マ	「負けない事が大切、最後に勝てばよい！」 ～私にとっての人生訓～
報 告 者	(有)マコト測量設計 代表取締役 設楽 誠 会員(五島支部)

今回、(有)マコト測量設計の設楽誠さんは、五島支部初となる報告者となりました。すべては、今年初め五島支部で江口前支部長が報告した事から始まりました。当時、支部設立を終えて3・4カ月が過ぎたあたりだったと思います。報告のあとの懇親会で設楽さんに報告をお願いしました。その後も会うたびにお願いし、ようやく快い了承を得て報告する運びとなりました。今回は交渉・シミュレーション・報告・懇親会と一連の流れを五島支部の方々にも体験していただいた



事は大きな成果であったと思います。

設楽さんの報告では、時にはギャグも交えながら、多くの苦難を乗り越えて現在に至っているという事がよくわかる内容でした。話の中で出てきた多くの言葉が、苦難のたびに判断の指標になっていることは、自分自身に置き換えても思い当たることが多くあり、自

分を振り返る上でもとても考えさせられました。

今回の例会では、五島支部からも7人の参加者があり大変にぎわいました。情報の伝達不足で日程や会場の変更を余儀なくされましたが、なんとか無事終了した事をホッとしました。ご迷惑をかけた皆さまにこの場を借りてお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。

最後に、今回設楽誠さんを迎えて、例会の運営の在り方等も含め、多くの事を学ばせていただきました。



佐世保支部にとっても良い経験になったと思います。本当にありがとうございました。

追伸:事務局の田口さんご結婚おめでとうございます。急きょこのようなお祝いしかできませんでしたが、心よりお祝い申し上げます。

(文責 永末 勝宏)



北松浦支部 例会報告

日 時	9月25日(木) 午後7時
会 場	佐々町文化会館
テ ー マ	「トマトハウスの成り立ちから現在、そして今後の展望」
報 告 者	トマトハウス 代表者 山之内 英樹 会員



山之内氏はH5年に測量会社に就職され趣味のラグビーを続けながら仕事をしていましたが、ラグビーで怪我が絶えずなんとか自分で怪我を治したいとH18年に半年間整体の勉強をされ整体師に転職。その翌年トマトハウスのオーナーが退職するという事で、オーナーの話をされ「自分に出来る!」と確信し、食の勉強を経てH19年にトマトハウスをまかされH23年に経営する事になったそうです。

ラグビーの精神を取り入れ、『成長と社会貢献』と経営理念を掲げ、「お客様を喜ばせ、お客様の創造を超えるサービスをしたい」とチェーン店では出来ない手



作り、手間隙をかけたソースやピザ生地など細部にまで吟味をしてこだわっているとの事でした。

今後の売上アップのためには何が必要かということで、今後來られたお客様に、もう一度踏みこんで徹底的に関わっていき素敵なレストランをつくっていきたいという報告をしていただきました。

ランチ部門やディナー部門、販売部門と集客するために色々なイベントを催されたりと工夫されていて、我が社でもお客様の事を第一に考えながら集客のための工夫をもう一度見直して考えていきたいと思います。例会終了後は、トマトハウスにて懇親会があり、旬の食材を使った絶品料理が並び皆美味しく頂き有意義な例会となりました。

(文責 鬼塚 秀典)

※五島支部例会は9月24日(報告者は長崎支部 出島地区会の中村こずえ会員)開催の予定でしたが、台風接近のため中止となりました。

青年経営者会 例会報告

日 時	9月17日(水) 午後7時
会 場	HOTEL シーサイド島原
内 容	島原支部例会に参加する交流例会

青年経営者会9月例会は島原支部の例会に参加する交流例会でした。報告者は本多兄弟商会の本多勝一郎会員でした。

本多兄弟商会は島原の特産品であるそうめんの製造が売り上げの大半を占める企業です。本多さんは大学卒業後、家電大手のヨドバシカメラに入社し多忙な毎日でしたが将来は実家で経営者になる夢を抱きながら過ごしていたと言います。そんな中ある友人が「自分にしか出来ない仕事に就きたい」という言葉を聞き「自分にしか出来ない仕事とはそうめんを造ることだ」と思い実家に帰ることを決意されました。しかし、帰省し会社に入ってみると本多さんの思い描いていたものとはるかに違いショックの連続だったそうです。まず、社長自身が製造工場にも関わらず白衣を着用してはなく販売先が組合のみで独自の販路が無い。また、年賀状などの挨拶もなく、そうめんの廃棄率も悪いなど多

くの改善点がありました。

そこで何とかしようと社長に改善を持ちかけるが「そんなことをしても意味がない」と一点張りだったそうです。変わらない状況下、毎日モヤモヤした気持ちで過ごしていく日が続き、転職なども考えたそうです。そこで悩みを相談でき、理解しあえる場所である“同友会”に出会います。

再度、改革に汗を流すようになり、年賀状を出していると以前の顧客から注文が入ったり、廃棄率も毎日を数値化することで減っていき結果が徐々に出てきました。また、本多さんは昔から地域貢献に興味があり保育園へのイベントに参加してそうめんをふるまうようになりました。そこで園児たちが美味しそうに食べているのを見て将来「島原はそうめんの街」と胸を張っていける地域づくりをしたいと願うようになったそうです。本多さんのような情熱を持った方がいる限りそうなる日は近い将来やってくることでしょう。例会終了後の懇親会は本多さんの美味しいそうめんをいただきながら他支部の方との交流を深めることが出来た充実した例会となりました。

(文責 平野 圭司)

支部活躍

長崎新聞
9月28日

中小企業への課税強化に反対の署名をする市民 長崎市浜町



課税強化に反対 長崎で署名活動
県中小企業家同友会支部 支部出口一隆支部長、210人は27日、長崎市の浜市アーケードで街頭署名活動をして、政府が検討している中小企業への課税強化に反対するよう呼び掛けた。政府は、赤字企業も課税される外形標準課税の対象

を資本金1億円以下の中小企業に拡大することや、中小企業向けの税優遇措置を廃止する法人税改革案を検討中。大企業に比べ業績回復が遅れている中小企業への影響が心配されている。街頭署名には約20人の経営者らが参加。「私たちの給料、雇用を守る」と訴えると、市民が次々と署名にに応じていた。今後、3万人を目標に集める。ソニー生命保険長崎LP C第1支社営業所長の出口支部長は「課税強化が決まればリストラせざるを得ない企業も出てくる。県内の雇用を支える中小企業の運動を支援してほしい」と話した。(松尾潤)

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数／約 500 字

●画像／歓迎します

□掲載／情報広報委員会にて選考

□投稿先／情報広報委員または同友会事務局まで

□メール／jimu@nagasaki.doyu.jp



新商品

長崎さるくマツ

ダスキン栄進

TEL.823-7633

瀧川 隆 会員（長崎支部 出島地区会）

第42回 青年経営者全国交流会 in 奈良 参加報告

第10分科会

マイナスからの出発！ 美味しいパン屋を作る事こそ私の使命

丸栄製パン(株) 代表取締役
滋賀同友会

辻井 孝裕 氏

長崎支部 浦上地区会 吉澤 健

「いつもありがとう」それは休憩時間のことでした。グループの方が社員さんと連絡を取り合っていました。通話の最後に、「いつもありがとう」と言って切られました。青全交に参加させてもらってよかった。

報告者辻井孝裕氏は、大学卒業後家業の丸栄製パンに入社します。そこで父親から借入金1億9000万円の存在を知らされます。マイナスからのスタートにもかかわらず、大学時代まで続けたスポーツ(野球)で培った経験を活かしパン屋の再建がスタートします。

辻井氏は覚悟を決めて自分の考えを行動に移しました。訪問先を絞りこみ、百貨店や通信販売業、大手スーパーへのパンの営業です。

取組みのポイントは、次の4項目です。

- 1、経営者として何をすべきか。
- 2、経営者は自ら動く。
- 3、経営者は学ぶ力を持ち続ける。
- 4、経営者はチーム作りに徹する。

悩み苦しみながらも「美味しいパン屋」を目指したチーム作りが始まります。具体的には、「F」PDCAを積み重ねていきます。特に(P)プラン作りの前に現状認識が重要と力説されています。事実(ファクト)をしっかり捉えることに務めました。

売上が9500万円なのに借入金1億9000万円あり存続が厳しい現状を把握すると、父親の自宅含めた資産の売却、銀行との返済交渉、社員さんと積極的な会話をします。

そして二つの方向性を社員さんに示します。

1、「中規模な手作り製パン業」を目指す。

2、お米のようなパン「食パン」づくりに絞り込む。

苦労したことは、会話が苦手な社員さんに会社の方針を解り易く説明し、経営者の考えに共感してもらうことだったようです。通常発生する問題は、任せた経営者に責任があるとした姿勢を示し、さまざまな壁にぶつかりながらも見事に利益の出る会社へと生まれ変わらせました。

グループディスカッションで面白いと思ったビジョンに向けた取り組みを紹介します。

- 1、モーツァルトの曲で熟成するフルーツ梅干し。
- 2、足場業者とコラボしたセルフペイントの塗料業。
- 3、ケーキ屋さんのたまごにこだわる続ける養鶏業。

経営者は掲げたビジョンが、絵に描いた餅にならないよう目標を成し遂げる強い思いがあるかどうか。想い続けることを行動に移せるかどうか。また出来ることをやり続けることが大事だ。経営者は苦しそうな顔をしてはダメ。社員さんが不安なく安心して働ける会社づくりが必要。その実現の為には、同友会で学び続けることの大事さを、グループ全員の一致した感想となりました。

辻井氏は、今回の報告で目指す方向がはっきり見えてきたようです。これまでの「小麦」と「パン」の会社から「滋賀県の田んぼ」と「食卓を結ぶ」会社になることを目指しています。

【青全交の学び、気づき】

- ①事実からスタートする(F)PDCA。
- ②座る場所が違うと、学び方も違って来る。
- ③電話の最後は「いつもありがとう」です。

電話を奈良からの帰りに実行しました。すると社員さんから「いいえ、こちらこそありがとうございます」と返ってきました。

以上参加報告といたします。

第14分科会

社員たちに救われた絶望の社長 ～社員と共に作り実践する経営指針～

(株)ホワイトボード 代表取締役
山梨同友会

橘田 孝一 氏

長崎支部 浦上地区会 山口 善也

去年の東京に引続き今年も奈良で行われた青年経営者全国交流会へ参加させていただきました。初日の第14分科会では、「社員が輝く企業づくり」(株)ホワイトボード代表取締役 橘田孝一氏が報告されました。

塾の講師を退職後親族の借金を返すため Web 製作



の会社を地元の印刷会社から出資を受け創業、なかなか思っていた程業績が上がらない中、お客様の仕事を徹底的に理解し本当に求めているサイトを提供する、Web 運用コンサルティング事業を創められ「まるで、社内に担当者が存在する感覚」というコンセプトで徐々に業績を上げていく中、出資してもらった印刷会社の経営が悪化し M&A をおこない印刷会

社の社長となられ Web と印刷両方の社員との関係構築のため年間 4 0 日の社員研修や合宿をおこなわれ社員同士が育ちあう企業文化ができ業績も安定してきた中、突然分社化の話が…。株は前社長が引退時に買い取る約束だったのでやむなく退職し何をしようか考えていた時、勤めていた印刷会社の方針で Web 製作の社員が解雇通告を受けている事を聞きその社員たちと新しい会社、(株)ホワイトボードを創業され最初は何から手をつければいいのか分からない状況でしたが、この時の社員の頑張りが、社員研修をやっていて本当に良かったと実感された時だったと言われておりました。今では仕事も安定し今後は業界大手になるべく事業を進められています。

その後のグループディスカッションでは、【①あなたが人材採用、社員教育（共育）に取り組む目的はなんですか。】【②社員から信頼される経営者の姿勢とは。】という二つのテーマで、ディスカッションをおこないました。①のテーマでは営業力の強化のために新卒を採用し育てたい。という方や今後の業界の存続発展のために少し無理をしてでも採用や教育をされているという方もおられました。問題として採用したい人が集まらない、採用しても直ぐに辞めてしまうなどの問題も出されました。②のテーマでは、社員さんが安心して働けるように組織図を三角ではなく社長や幹部が社員を支える逆三角の支援型の組織作りをされている方や、経営理念に照らし合わせてそれに合わない仕事は取らないようにして、ぶれない経営をしているという方もいらっしゃいました。全体的に社員の方達に信頼されるためには自分が率先して行動しコミュニケーションや不安を取り除く仕組みづくりが大切であるというまとめになりました。分科会終了後の懇親会では、登録者数 1 3 0 0 名以上という数のとおり多くの方が参加され、佐野実行委員長や奈良市長の挨拶の後、各県より全国大会の PR が盛大にあり大いに盛り上がった懇親会でした。また九州や山口・広島県の青年部会の方達とまたお会いすることもでき今後の交流が楽しみです。

次の日の記念講演では奈良県新公会堂の能楽ホールでおこなわれ、記念講演前の能楽披露は初めて拝見し、とても歴史と技術を感じることが出来ました。能楽の舞台の上での記念講演という歴史を感じるなかで、宮大工棟梁の小川氏の講演は始まりました。

1 8 歳で宮大工を志し名工・西岡棟梁に弟子入りを申し出るも断られ、やっとの思いで、2 1 歳で入門を許されるが「技術は見て覚える」を徹底され、言葉で教えてもらったのは生涯で一度だけカンナの使い方を教えてもらいました。という厳しい環境の中、職人の世界を極められ、人間として育ちながら大工としての技術を身につける方法として、師弟制度による寺社建設会社「鵜工舎」を設立し、厳しい師弟生活の中で、時間はかかっても素直に学び人の心を打つ本当に良い



ものを作る人材を育てたい。と話されていました。最後には日本で数人しか扱えない槍カンナの実演を見せていただき名工の技術の高さをあらためて感じました。

午後からは「第 9 回中同協青年部連絡会」がおこなわれ奈良同友会の

佐野実行委員長のお礼の言葉や参加された各委員からの感想などが発表されました。続いて青年部連絡会の正副代表会議のメンバーが決定され代表を広浜中同協幹事長が副代表を各ブロックより選出し九州ブロックは熊本青年部会の瀬倉部会長が就任されました。代表は今後 1 2 月の正副代表会議にて運営委員からの代表を検討することも併せて報告されました。引き続き奈良青全交の総括や反省、次回の山梨青全交の概要やスローガン「人は石垣 人は城」～青年経営者よ、今こそ実践！人間尊重の経営～が発表され来年の山梨青全交への意気込みを感じることが出来ました。最後に中同協青年部連絡会の 2 0 2 0 ビジョンについて先日の第 1 分科会での学びをふまえて報告があり。

【われわれ青年経営者で世界に誇れる日本の未来を創ろう！】①尊敬される次代のリーダーとして全人格的成長をめざそう②学びを経営実践し、市場と雇用を創造して、社員が輝く企業をつくろう③共に切磋琢磨する青年経営者の仲間を地域にふやそう このビジョンを達成するために青年部活動の必要性和メリットを少しでも感じてもらうために色々な地域での連絡会の開催やブロックごとの交流の促進などが大切であることが報告され、長崎同友会としてもこの流れに乗り遅れないためにも青年経営者会の活動をもう一度見つめ直し、より多くの方達に青年経営者同士の学びや交流の大切さを知ってもらう活動が必要であると感じました。沢山の学びと刺激を受けた青全交となり私自身もこの学びを一つでも多く実践し事業や同友会活動に生かしていきたいと思います。



情報広報委員会 新HP記事投稿勉強会 開催報告



この度より長崎県中小企業家同友会のホームページ (<http://www.nagasaki.doyu.jp/>) がリニューアルされました。それに伴い、各支部・地区会および県委員会においては、それぞれに行った例会やイベント等の記

事を投稿できるようになりました。

9月8日シーハットおおむらにてその為の記事投稿の方法を勉強致しました。

講師には制作していただいた藤村さんに来ていただき、懇切丁寧に教えて頂きました。投稿の仕方・画像のアップロードの仕方・記事に画像の貼り付け方等ご指導いただきました。

今後は、各支部・地区会の例会やイベントの告知だけでなく報告なども載せていただきたいと思います。同友会の情報発信源として新しくなったホームページをどんどん活用していきたいと思っています。記事投稿は会員皆さんの日々の努力が重要になってきます。ご尽力賜りますようお願い申し上げます。

(文責 情報広報委員長 永末 勝宏)

九州・沖縄ブロック事務局長会議 参加報告

9月11・12日宮崎にて九州・沖縄ブロック事務局長会議に参加させていただきました。まず課題提起ということで中岡協平田事務局長より情勢についての報告がありました。消費増税の影響や外形標準課税問題、条例に関する各地同友会の取り組みや課題等、議論を行いました。この意見交換の流れを受け、第2部では宮崎大学准教授：根岸先生から「情勢理解のための取り組み～学生の経済事情・地域づくりへの理解方法から～」と題して報告をいただき、その後再度いかに情勢と同友会運動をどのように結び付けていくかという討議を行いました。その中で、物事を“自分ごと”としてとらえるというキーワードがありました。今をどう理解し、何のために仕事をしているのか、素直に話し、聞く訓練を重ねることの大切さ、また消費者として市民として問題意識や危機意識を持ち現場に何があるのかという知力の形成が大切であることを学ぶことができました。社会は日々変化し、その変化は平等に現れている、その変化をいかにキャッチあるいは、

気づくことができるためにも、事務局として経営や社会情勢を“自分ごと”としてとらえる能力が今後ますます必要になるとのことです。普段の会話や意見交換の中に出てくる言葉でさえ身近な情勢としてとらえ、その情報を同友会運動や企業経営に活かしていただけるようアンテナを張り再度日々の業務に向かっていきたいと思っています。

2日目は各行事の確認が行われ、来期の支部長・支部活動研修交流会の素案等11月の代表者会議に提案する事項をとりまとめました。

他県同友会の事例に触れるたびに刺激やヒントになります。いい部分を取り入れ不離一体である同友会運動と企業経営のサイクルがますます強いものになるよう、事務局も運動に大きく関わっていく必要性と責任を感じた会議でした。

(文責 事務局 峰 圭太)

広告募集

<4cm×9cm>

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。**A3チラシは2枚分**となります。ご利用お待ちしております。

長崎支部 ボウリング大会 開催報告

日 時：10月5日（日）13時30分

場 所：ラッキーボウル



長崎支部 浦上地区会・出島地区会・の会員・会員家族・オブザーバーとの交流の場として開催しました。

今回は大人21、子供2人の参加で、女性と子供はハンデで50点で2ゲーム行いました。14時前からスタートで、最初は皆、様子を見ながらの少し静かなゲームでした。

ゲームが進むにつれて、各チームから歓声が上がり、ストライクではハイタッチでの応援！大変盛り上がってきました。約2時間で2ゲームが終わり、同会場5階での表彰式です。

個人優勝は金田昭子さん団体優勝は松田学さんがキャプテンをつとめるチームでした。上位からの発表で各チーム、持ちよった賞品を選び乾杯と成りました。

ゲーム中は、各チームから歓声が上がりいろんな交流が出来たと思います。誰でも出来、会費も安くでき



るボウリング大会を再度開催してほしいとの声も上がりました。

（文責 小坂 元一）

諫早支部 フォローアップセミナー 開催報告

日 時：9月26日（金）19時 場所：食楽亭

出席者：（対象者）井原、菅、友永、永江、張本、三ヶ島、土井 7名

（役員） 森、廣谷、杉本、石橋、馬場、前田、松田卓、木下、東村、山田、平湯 11名（敬称略）

各支部で新会員フォローアップセミナーが開催されています。諫早支部は数年前までは『新会員オリエンテーション』を毎年開催してきましたが、せっかくだから県央3支部合同でやろうということになりました。3支部合同『同友会を知る会』として事務局長と松田相談役が同友会の説明を2部構成でする内容でした。この会はその後『3支部合同例会』となって現在も継続しています。しかし肝心の新会員の研修はその後開催されていませんでした。

入会したのに何もわからないで辞めていく人を多数見て、新会員研修が必要だと思い今回開催することになりました。予定していた松田相談役が急遽出席できなくなって私が報告することになりました。わたしも

同友会歴は17年と長いのですが同友会について報告するのは初めてでした。「会員名簿活動の手引き」を改めて読むとなんと難しい、理解しにくい内容ではありませんか。この内容を新会員に理解してもらうのは大変だと思いました。

そこで①同友会について、②参加者に役立つ情報、③会員としての心構えで報告しました。まず自己紹介、会社紹介です。名刺だけでなくもっと自分を知ってもらふ履歴書を作る。会員の辞書の1ページを自分で作成することです。この1ページを全会員まとめて諫早支部の辞書を作成したいと思います。この辞書は会員のビジネス交流の役に立ちます。

さて問題の同友会についてです。聞くだけでは退屈

だろうと思い新会員に項目別に読んでもらい、その後解説するように進めました。最後に③会員の心構えを確認しました。

私の報告は以上で終わりその後、委員会の活動内容を各委員長から説明してもらいました。各委員長も準備をしている人、していない人がいましたがそこは同友会！しっかりまとめてもらいました。

懇親会で参加した新会員、役員から恒例の一言コメントをもらいました。「同友会に入る前は人前じゃべれなかった。」と松田卓さん。今ではプロ並みです。突然、友永さんが「来期の政策委員長になりたい！」と立候補しました。同友会で変革する人がこれからもどんどん出てくる予感がします。

この研修を終えて私も学ぶことが多くありました。理念を伝える難しさ。実践する難しさ。報告者が一番勉強になると言われますが、まさにその通りでした。

(文責 山田 康成)



第1回 佐世保支部経営指針策定セミナー 参加報告

日 時：9月26日（金）～27日（土）

場 所：九十九島観光ホテル

講 師：村山隆之・井上桂樹（福岡同友会）・木竹広賢・橋口久（敬称略）



今回、初の試みとして佐世保支部では経営指針策定セミナーを支部単独で行いました。村山さんを始め支部会員の方々と福岡同友会の井上さんに講師を務めていただきました。特に福岡同友会の井上さんの経営理念作成に対する熱い想いを受け、初日は参加者のほとんどが午前2時過ぎまで指針作成に頑張りました。2日目も全員寝不足ながらも木竹さんの財務知識の講義も真剣に頑張りました。最後には橋口さん提唱の「SASEBO365」の実践、365日以内に経営計画発表会を行う約束まで行いました。

このセミナーを終えて、私自身も10月4日、5日と2日間にわたり「第25回日本福祉文化学会全国大会大分大会」にて、同友会での学びを生かし、【NP

〇法人ふるさと長崎まごのての福祉文化研究】～その1 経営理念の変遷～を、発表することができました。これは、これまでの同友会での学び、そして策定セミナーでの進むべき方向の明確化の賜物でした。

今回、支部でこのようなセミナーを開催できたことは、本当に素晴らしい事だと思います。ご協力していただいたみなさん、参加してくださった会員の皆さん本当にありがとうございました。

(以下、参加者のアンケート結果をまとめましたので、ご報告いたします。)

【セミナーへの感想】

- ・たくさんの気づき・ヒントを頂きました。自社の計画書・経営そのものに必ず生かしていきます。
- ・第1回ながら、本当に良いセミナーだったと思う。今回の全ての参加者が経営計画書の作成、経営計画書発表会を365日以内に実現することを切に願います。これが実現すれば、佐世保支部はさらに大きく飛躍することでしょう。
- ・仕事から離れて、セミナーに参加して改めて貴重な時間だったと感じました。以前よりは、理解ができました。
- ・日頃、このような自社を見つめる時間が中々ないの

で、自社の現実を見つめる良い機会となった。

- ・参加して良かった。井上さん（福岡同友会）の熱い語りには負けてしまった。
- ・内容の濃い割にまずリーズナブル！自分の経営者としての未熟さ・覚悟のなさを痛感。今後無理することなく、自分の成長のスピードで、経営計画書作成を進めていきます。
- ・講師の方々の熱い想いに感銘を受け、興味は以前からあったが、今回を機にきちんと作成しようと思いました。
- ・今後のビジョンが明確になり、自分自身のモチベーションが上がった。SWOT分析の重要さ位置づけが今まで以上に理解できた。

【次回セミナーへの要望】

- ・昼食の時間を短く、会場を広めに、財務知識の時間をあと1時間欲しい。
- ・全体的な流れは、理解できたので、ワークの時間をあと1日欲しい。
- ・財務知識の掘り下げて学びたい。
- ・次年度もぜひ参加したい。また、多くの方々に参加してほしい。
- ・定期の勉強会後に、合宿で仕上げというのもあり新しい会員や、経営計画書を知らない方にもっとアピールして、若い人特に女性の参加者を増やすととても良い。
- ・2泊3日がベストかどうか分かりませんが、今回の勢があれば、次回は佐世保支部で2泊3日開催できるのではないのでしょうか。

【指針書発表会への決意】

- ・参加者11名全員365日以内の開催期日を発表されました。

（文責 豊福 和明）



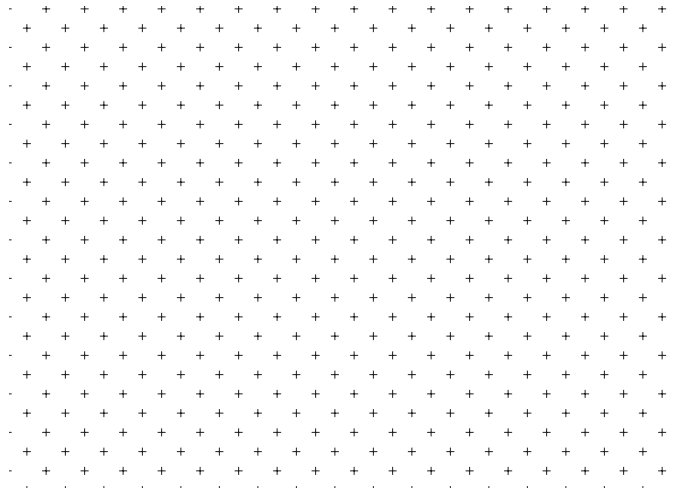
新入会員の皆さんです＜10月入会＞

（敬称略）

支 部 名	諫早支部			
氏 名	おかざき かつひろ 岡崎 克寛			
企 業 名	駅前隠れ家kanchiro(カンチロ)			
役 職 名	代表			
企 業 住 所	〒 854-0071 諫早市永昌東町 15-10			
T E L	090-7478-8554	F A X		
業 種	飲食店			
企 業 P R	食べたい物を食べてもらう、そして楽しく自由に。 美味しい物を楽しく食べている時が一番幸せと見えるような お店にしていきたいです。			
スポンサー	杉本 誠二郎			

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	関 ^{せき} ひろみ		
企 業 名	Studio Dream		
役 職 名	インストラクター		
企 業 住 所	〒 859-3215 佐世保市早岐 1-7-3 2F		
T E L	090-9071-3271	F A X	0956-34-2438
業 種	美容業		
企 業 P R	人本来がもつ恒常性(自然治癒力)を高める施術を行い肌再生を促すスキンケアを取り入れたトータルビューティーです。スクールも開催しており、開業支援も行っております。サロンにオーナーズシップ制導入。		
スポンサー	金田 昭子		

支 部 名	諫早支部		
氏 名	みやざき しんご 宮崎 信吾		
企 業 名	アートホーム		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒854-0037 諫早市川内町 2686		
T E L	0957-21-3509	F A X	0957-21-9400
業 種	リフォーム業・バー		
企 業 P R	諫早で塗装を中心としたリフォーム業をしています。 夜はガールズバーをしています。		
スポンサー	山口 憲男		



11月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

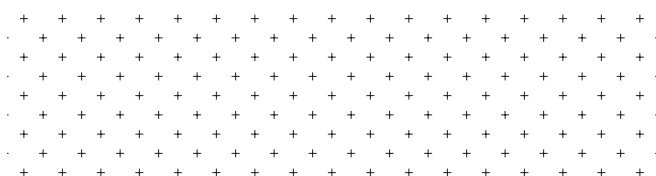
日 時 11月25日(火) 午後6時
会 場 ギャラリーヘキサ
テ — マ 景気、国際情勢、時代の波に「事業縮小」という決断！
報 告 者 学校法人 平成国際学園 長崎情報ビジネス専門学校
中尾 陽一郎 会員

本校はITを中心とした専門学校として設立されました。
その後、2年過程の医療事務、介護福祉士の専門課程、留学生部門、職業訓練部門を新たに設置して現在、3本の柱として運営しております。
専門課程、職業訓練部門は景気や行政の動きに、留学生部門は国際情勢に大きく左右され、常に運営は変動を余儀なくされます。今、景気回復による職業訓練事業の縮小、東南アジアの経済発達による留学生の増加等による今後の事業展開について報告します。

●長崎支部 出島地区会

日 時 11月27日(水) 午後6時30分
会 場 メルカ築町・5階ホール
テ — マ サスティナブル企業を目指して
～同友会の学びを活かした経営戦略～
～ビジョン構築から連携、そして承継へ～
報 告 者 (有)壽物産 代表取締役
(有)雲仙有機 専務取締役
永吉 誠 会員

10代からバーテンダー、ホストを経て風俗店経営者に。一時は天下を掴むも失敗…うつ、引きこもり、ヒモ…堕ちるとここまで堕ちた私が、なぜ今リサイクルを叫ぶのか。家業の経営破たんは回避したけれど、綱渡り状態の日々に次なる領域を探して入会。フォーラムや例会での出会いと学びの連鎖が、会社と個人の成長に大きな影響を与え、まだまだ有益な人・モノ、資源やチャンスが捨てられている！と気づかされました。世相の裏を見たからこそ、捨てられ続ける飽食国家ニッポンの現状に嘆き叫びます！会歴わずか2年6月足らずで、経営再建途中で、まだまだ学びもハナタレ小僧ですが、目を開かせてくれた同友会に、感謝の心を込めて報告させていただきます。



●大村支部

日 時 11月19日(水) 午後7時
会 場 未定
テ — マ 「人生の大海原。失敗も成功もまた楽し。笑顔で感謝の気持ちが福を呼ぶ」
～目の前に現れた救世主。同友会はパワーの源と羅針盤だ～
報 告 者 スギセイフーズ(有)
杉本 誠二郎 会員

長崎市生まれ。幼少期は浦上育ち。
フォークソング狂いのコンサート時代と初起業。そして失敗。あつという間のときの流れ「必ずチャンスは毎日あった」と後で気づく。
調味料業界20年間のサラリーマン時代を経て社長職への誘いを断り起業。
平成17年にお客様だった会社と中国へ進出。そしてまた失敗。
両目にはいつも¥マーク。帰国してお客様から一括助言頂き奮起。感謝の気持ちがわかり始めてやっと¥マークから普通の笑顔に変わる。

●諫早支部

日 時 未定
会 場 未定
テ — マ 未定

●島原支部

日 時 11月20日(木) 午後7時
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ — マ 島原支部 若手経営者報告 第5弾
社労士 梅澤の『労務管理講座』
報 告 者 梅澤社会保険労務士事務所 所長
梅澤 浩 会員

社会保険労務士の業務を通じて感じたこと。それは、経営者であっても自社の労働時間の管理や賃金の仕組みについて正確に把握されている方が案外少ないということです。実労働時間とは？賃金支払い対象の労働時間とは？
実際に受けた相談例を交えながら、中小企業の労働時間管理、賃金制度、就業規則などについてお話ししていただきます。中小企業各社が後回しにしがちな労務問題にスポットを当て、中小零細だからこそ知っておかねばならぬ事を、社労士梅澤さんにまずは入門編から学ばせてもらいましょう。
会員の皆様、11月も奮って御参加お願い致します。

●佐世保支部

日 時 未定
会 場 未定
テ — マ 未定

●北松浦支部

日 時 未定
会 場 未定
テ — マ 未定

●五島支部

日 時 11月18日(火) 午後6時30分
会 場 未定
テ — マ 未定

●青年経営者会

日 時 未定
会 場 未定
テ — マ 未定

10月理事会 議事録 抜粋

10月3日(金) 17:00 つくば倶楽部

協議・承認事項

- 1) 中小企業家同友会ポスター作製について
銀行数は全県約230
→色校および1,200枚見積もり確認。
完成後の各金融機関訪問、会員への郵送方法についての三役会案
→20日以降、ポスター完成後各銀行へ代表と事務局で訪問予定。会員への郵送方法については郵送対応する
→色校、1,200枚印刷の見積りを承認。配布方法に関しては三役会案を承認。
また配布先として官公庁、商工会議所、長崎県産業振興財団等にも依頼する
- 2) 次年度フォーラム担当支部について
→北松浦支部に確認
→確認後、来期担当として北松浦支部に依頼する(佐世保支部の協力のもと)
※松尾代表より「県下全域で協力するという気持ちを持ちましょう」
- 3) 第21回経営フォーラムについて
(前回までの承認事項) - 実行委員長: 長崎出島地区会・山口憲男会員、
日程-10月24日(金)、場所-長崎
ロイヤルチェスターホテル、分科会数-4分科会、目標人数-320名、組織図(暫定)、記念講演、分科会内容、大枠の予算、チラシ案、全体のタイムスケジュール、第4分科会の設営方法)
各支部動員目標依頼、来賓リストおよび案内文、フォーラムノート広告、来賓祝辞(知事)、乾杯、グループ長研修について、ブース出展、フェイスブック開設(運営は実行委員)

(今回提案・確認・依頼事項)
受付(各支部から2名)、フォーラムノート、各支部バス担当者の選定、全体会・懇親会での握手タイムを行わない(分科会はお任せ)
→上記を確認。受付やバス担当者が決まったら事務局へ連絡いただく。また長崎支部以外で受付を担当いただく方は乗り合わせのバスで来ていただいても構わない。フォーラムノートに関しては後日メーリングで確認。名刺広告に関しては75で締めきる。また、フォーラム終了後報告者を囲む会を予定していますのでぜひ参加をお願いします。
※今後、国会議員も来賓として招待する件について各支部役

員会での協議結果および三役会案

- 各支部来賓として国会議員を招待することに前向きな意見はなかったが、次の県行事でもある賀詞交換会において招待するかを今後検討
 - 今回支部役員会で協議いただいた内容はフォーラムについて検討いただいた可能性があるため、代表より賀詞交歓会に向けてお話しいただく。また各政党の県連に案内したほうがいいのではないかと三役会の見解
 - 上記に向けて継続協議
- 4) 新入会員に関して他支部に紹介した際の拡大還元金の分配について
→拡大還元金を案分することは承認済み。
(三役会案) ①全額スポンサー所属支部に支払う②半々とする
→上記案を再度各支部役員会で協議し三役会までに報告
 - 5) 五島支部からの提案について
→フォーラム参加費の補助を申請
(三役会案) 年初通りの予算案でお願いをする
→三役会案を承認
 - 6) 宗教法人の会員資格について(長崎支部より)
(三役会案)
とりあえず先月までの決議事項を遂行する。今後該当する新入会員に対して面談等行い、そこで不具合等発生した場合、今回の意見を参考にしながら対応を考える。
→三役会案を承認
 - 7) ダイヤモンドクラブからの提案について(継続審議事項: ダイヤモンドクラブの検討結果をもとに)
→松田相談役より進捗があれば報告
→12月中までに答えを出す方向
 - 8) 会費引き落とし時の108円について
(三役会案)
①勧誘の段階で108円をお伝えいただく②手続きのアポを入れる際に事務局からアナウンスを行う③リーフレットに記載する。以上3点および規約をお渡しするよう徹底する。
→上記3つおよび規約をお渡しするという三役会案を承認
(108円という表記について、今後は「引き落とし手数料および消費税」という表記の方法に変更する)
今後新入会員の手続きに事務局が伺い同友会の説明をした際、通常の入会手続きの流れで何かがあった場合は三役会、理事会に差し戻し、入会金はその場では預からないものとする。
(三役会の継続協議事項)
※会費引き落としの銀行に関して十八・親和以外の銀行に関

しても引き落とし口座として活用できるか財務委員長と検討
※会費の納入に関して現状の規約では毎月の引き落としと
なっているが今後まとまって前納するなど支払方法の選択
肢を増やすかどうか、上記とあわせて財務委員長と検討を
行う
※会員が勧誘する際、同友会の説明を行うが事務局が新入会
員に対して行っている説明をマニュアル化し配布し各支部
役員は共有する

9) 京都同友会義援金について

→9月5日号中小企業家しんぶん掲載参照。

(三役会案)

要請があったものに関しては義援金を義援金基金から支払
う。

→取り急ぎ義援金基金から京都同友会へ10万円寄付する。

10) 九州の食EXPO後援依頼について

→後援依頼要請。

(三役会案)

ガイドライン上は問題がないかと思うが、後援することに
対し前回出店の落水さん、内山さんに様子をうかがってみる
・落水さん…どちらともいえないが後援することでのデメ
リットはないと思う
・内山さん…食に関係ある会員には関係があることなのでメ
リット、デメリットということではないと思う。一応九州
全県の同友会には後援依頼を出していると思う

→後援することを承認

11) 事務局について

・事務局会議報告

・下期事務局研修費に関して

→提出した資料案を理事会に提案。全研に関しては若干予算
超過になる可能性もあるが会員の参加が多く見込める大会
ということもあり、事務局も参加してほしいという意見の
もと、理事会にて協議

→全研参加も含めて事務局からの提案を承認

・事務局車について（リース応募進捗状況報告）

→島原支部：上田会員の見積もりおよびプランを協議

→上田会員のプランを承認

・他県同友会を招く際の申し合わせ事項再確認

→例会、セミナー等、他県会員に依頼する際は必ず事務局を通
すことを再度理事会で確認

→上記を確認。また長崎同友会の会員が他県で報告をする
際、事務局から所属支部に早めに連絡を入れることも確認

報告・連絡事項

- 1) 中同協第1回経営労働委員会参加報告（吉澤委員長）
- 2) 第0回地域連携サポートデスク参加報告（峰）
- 3) 第1回長崎県中小企業振興条例策定会議参加報告（町田
委員長）
- 4) 九州・沖縄ブロック事務局長会議参加報告（峰）

5) 金融庁業務説明会参加報告（池田長崎副支部長参加：代
理報告峰）

6) 外形標準課税適用拡大反対署名進捗報告（出口支部長）
→今後の流れとして更なる署名収集に向け締め切りの設定等
検討することを確認

（10月1日 16：00時点／事務局預かり分）

※浦上地区会の合計に街頭署名分728筆含む

※事務局の合計に外部元市議中村すみ代様240筆含む

7) 中同協 役員研修会参加報告（松尾代表、西村専務、事
務局田口・峰）

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	事務局	合計
目標	7,000	6,000	4,000	4,000	3,000	6,000	3,000	2,000		
実数	1,765	949	731	158	985	886	586	1	455	6,516

8) 各支部（地区会）通帳・印鑑管理について

9) 2月28日役員研修会・来期活動計画検討会について

10) 名簿・活動の手引きについて

11) 3カ月間会費滞納者について－該当なし

12) 2019年 中小企業問題全国研究集会（全研）について
ニュー長…立食1000名、椅子800名、分科会対応約5室
ベストウェスタン…立食1000名、椅子900名、分科会対
応最大6室

※中同協確認事項最大1000名（上限を設ける）でも全国大
会開催可能

その他

・情報広報委員会より提案の、今後理事会の議事録に関して、
掲示版に掲載ではなくe-doyuの「ファイルライブラリ」に保
管していく案を採用

決議事項確認

- ・3名の入会、1名の退会、1名の取り下げを承認
- ・中小企業家同友会ポスター作製について、三役会案を承
認。配布先に関しては官公庁、商工会議所等にも依頼する
- ・次年度経営フォーラム担当について、北松浦支部に決定
（佐世保支部の協力のもと）
- ・第21回経営フォーラムについて、依頼事項等を確認
※国会議員を来賓として招待することに関しては継続協議
- ・五島支部からの提案について、三役会案を承認
- ・会費引き落とし時の108円について、三役会案を承認
- ・京都同友会義援金について、三役会案を承認
- ・九州の食EXPOについて、後援することを承認
- ・事務局について、下期事務局研修費に全研参加費を含め、
予算の変更を承認。事務局 車について上田会員のプラン
を承認

次回日程－11月10日（月） 19：00～
シーハットおおむら

会員消息

会 員 数（10月1日現在）

	長 崎（浦上）	（出島）	大 村	諫 早	島 原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	227	127	100	67	80	50	120	40	624
期首	201	115	86	57	54	40	99	25	509
現在	205	115	90	60	61	38	103	24	529

●役職変更

吉川 憂也 会員（長崎支部・浦上地区会）

新役職：代表取締役

退 会 者（敬称略）

会 社 名	会 員 名	支 部・地 区 会 名	入 会 年 月
西部石油（株）	江 村 大 洋	長 崎・浦 上	1999年 6月